

平成24年7月11日

水管理・国土保全局河川計画課

エックスレイン

XRAIN(XバンドMPレーダネットワーク)の利活用促進について

近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）による水害や土砂災害等に対して、適切な河川管理や防災活動等に役立てるために、国土交通省では、局所的な雨量をほぼリアルタイムに観測可能なXバンドMPレーダの整備を進めています。

1. 平成24年7月12日から中ノ口局（新潟県燕市）による一般配信を開始し、新潟地域の雨量観測体制を強化しましたのでお知らせします。

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

2. また、今後、より多くの方に知って頂き、利活用して頂けるよう、XバンドMPレーダネットワークを『^{エックスレイン}XRAIN』の名称で呼ぶこととしましたので、お知らせします。
3. XRAINは既に様々な分野で利活用が始められていますので、その利活用状況についてあわせて紹介します。

問い合わせ先

河川計画課河川情報企画室

課長補佐 根本 深（内線：35-392）

（代表）03-5253-8111 （直通）03-5253-8446

1. XバンドMPLレーダ中ノ口局による降雨観測情報の一般配信開始について
平成24年7月12日より、新潟地域の中ノ口局(新潟県燕市)による降雨
観測情報の一般配信を開始します。

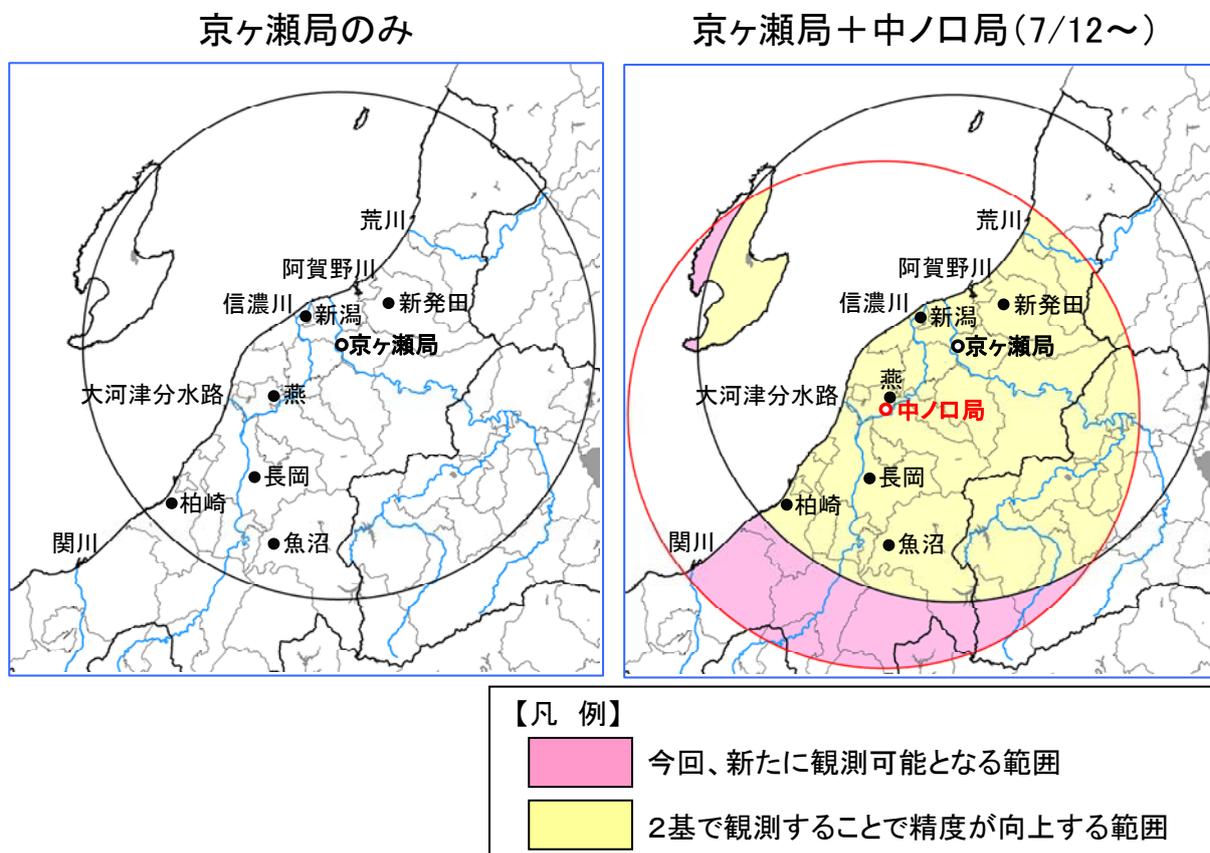


図 新潟地域の観測範囲

新潟地域は従来1基(京ヶ瀬局)で観測を行っていましたが、中ノ口局の配信開始により、観測範囲が拡大(南魚沼市、十日町市、上越市及び津南町の一部など)するとともに、2基で観測される範囲の観測精度が向上します。

なお、現在、平成25年度中の一般配信開始を目標に、整備済みの27基に加え、北海道に1基、東北に4基、関東に3基のXバンドMPLレーダを整備予定であり、更なる観測体制の強化を図って参ります。

2. XバンドMPLレーダネットワークの名称について

国土交通省ではXバンドMPLレーダネットワークをより多くの方に知って頂き、利活用して頂けるよう、『XRAIN^{エックスレイン}』の名称で呼ぶこととしました。

【名称】 XRAIN : X-band polarimetric(multi parameter) RAder Information Network

3. XRAIN雨量データの利活用状況について<別添>

国土交通省では、XRAINによるリアルタイムで入手できる詳細な雨量情報を活用し、適切な河川管理や迅速な防災活動等に役立てるとともに、洪水・浸水予測の高精度化を進めています。

これに加えて、様々な分野で利活用が行われるよう、XRAINの雨量数値データを一般に提供する社会実験を実施しています。

①テレビでのXRAIN画像情報の提供(東日本放送)

- ・東日本放送がテレビ局としては初めてXRAIN画像情報の提供を開始。
- ・リアルタイム情報だけでなく、災害時の事後解説においても活用を予定。

②XRAINを活用した列車の運転保安の確保(京阪電鉄(株))

- ・京阪電鉄(株)において、XRAINを列車の運転保安の確保に活用。
- ・XRAINの詳細な雨量情報を活用して、きめ細かく流域の流出計算を行い、線路に流れ込む水量を予測。

③XRAINを活用した水防活動(東京消防庁)

- ・東京消防庁において、XRAINを警戒地域の早期把握や各種水防活動の判断支援に活用。
- ・東京消防庁内部システムとして、様々な機能を備えたwebサイトを構築。

等、具体的な利活用が進んでおりますので紹介致します。

<別添> XRAINの具体的な活用事例について

<参考資料> XRAINについて